

全国専門学校リハビリテーション協会 平成 28 年度理事会・定例総会

平成 28 年 9 月 14 日（水）学校法人吉田学園 専門学校北海道福祉大学校・専門学校北海道リハビリテーション大学校を会場として、平成 28 年度全国専門学校リハビリテーション協会理事会・定例総会が開催された。出席者 11 名、代理出席 1 名、委任状出席 2 名、オブザーバー出席 1 名であった。

報告事項、審議事項、結果は以下のとおり。

【審議事項】

■ 第 1 号議案 『平成 27 年度事業報告及び収支報告の件』

事務局より、別紙 - 平成 27 年度事業報告書に基づき、平成 27 年度事業報告がなされた。その後、別紙 - 平成 27 年度収支報告書に基づく、平成 27 年度の収支報告がなされた後、監事 前鼻 先生（学校法人西野学園 理事長）及び監事 竹村 先生（学校法人青照学舎 理事長）より 27 年度の会計監査の結果について、「適正である」と承認頂いた報告が行われた。平成 27 年度事業報告及び収支報告について、一同異議無くこれを了承した。

■ 第 2 号議案 『平成 28 年度事業計画（案）及び収支予算（案）の件』

事務局より、別紙 - 平成 28 年度事業計画(案)に基づき、平成 28 年度の事業計画(案)についての説明が行われた。

- ・事務局及び大本先生（学校法人こおりやま東都学園代表理事専務）より医療系 e ラーニングコンテンツ共同開発利用事業について説明がなされた。こおりやま東都学園が実施主体校となっていた、文部科学省委託事業の東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業に昨年度、本協会から 7 校協力していた。

本年度以降、実施主体をこおりやま東都学園から本協会に移行することについて、審議の結果、条件付きで一同これを了承した。

条件としては、参加協力校が会員校の過半数を満たさない場合は、実施しないこととする。会員校向けに利用説明会を開催し、協力校を募る。その後、協力校より分科会を設置し、運用方法について、検討していく。

- ・事務局より、熊本地震に伴う義援金拠出について、被災会員校及び全国専修学校各種学校総連合会に対する義援金拠出の提案がなされ審議の結果、以下の通り義援金の拠出について、一同これを了承した。

○学校法人青照学舎 メディカルカレッジ青照館 金 100 万円

○全国専修学校各種学校総連合会 金 50 万円

合計 150 万円を拠出する。

- ・福田会長より平成 22 年度から平成 27 年度まで停止していた年会費について、繰越金の減少及び医療系 e ラーニングコンテンツ共同開発利用事業の開始に伴い、年会費徴収再開の提案がなされ、一同異議無くこれを了承した。
- ・事務局より、別紙 - 平成 28 年度収支予算(案)に基づき、平成 28 年度の収支予算(案)についての説明が行われ、一同異議無くこれを了承した。

【報告事項】

■ 職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業（委託事業）

福田会長より大阪リハビリテーション専門学校が実施主体校として、進めている文部科学省委託事業である職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業の報告がなされた。

本年度、第三者評価のモデル受審校として、本協会より下記の会員校に協力頂く。

- ・学校法人西野学園 札幌リハビリテーション専門学校（北海道）
- ・学校法人青照学舎 メディカルカレッジ青照館（熊本県）